

IBM Cloud Identity Service

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

IBM Cloud Identity Service は、Identity and Access Management (IAM) ソリューションを展開し、管理する時間および費用を削減するとともに、エンタープライズおよびクラウド・アプリケーション全体のアクセスを確実にするための主要なセキュリティ管理としてのアイデンティティを可能にします。IBM Cloud Identity Service は、Identity and Access Management のコア機能全体に深い機能性を提供するマルチテナントのパブリック・クラウド SaaS で、Web アクセス管理、統合ならびにアイデンティティのガバナンスおよび管理が含まれます。IBM Cloud Identity Service は、戦略的な IAM プラットフォームを多面的なユーザー人口 (従業員、消費者およびパートナーなど) に対して提供します。

1.1 IBM Cloud Identity Service

IBM Cloud Identity Service は、シルバー、ゴールド、プラチナおよびブルーの 4 つの基本サブスクリプションを提供します。基本サブスクリプション・パッケージは、サブスクリプション・パッケージに含まれる可用性および機能の数量によって異なります。お客様は、それらに関連する 1 つの基本サブスクリプションを購入しなければなりません。各パッケージには、IBM Cloud Identity Service を利用することが予測される総ユーザー数を示す 6 つのユーザー階層があります。選択したパッケージ内で、1 つの階層を選択しなければなりません。基本パッケージの比較については、下表を参照してください。

	シルバー	ゴールド	プラチナ	ブルー
実稼動ドメイン	1 実稼動 + 1 DR	1 実稼動 + 1 DR	1 実稼動 + 1 DR	1 実稼動 + 1 DR
非実稼動ドメイン	1	1	2	2
完全非実稼動	0	0	0	1
VPN	1	1	2	2
IP アドレス	2	2	4	6
WAM:				
SPNEGO サポート	いいえ	はい (1 AD ドメイン)	はい (1 AD ドメイン)	はい (1 AD ドメイン)
多要素 EAI	いいえ	いいえ	はい	はい
アイデンティティ管理				
アイデンティティ・フィード (Standard TAL)	2	10	18	無制限
アイデンティティ・フィード (Custom TAL)	0	0	2	無制限
セルフサービス (Basic)	はい	はい	はい	はい
セルフサービス (Advanced)	いいえ	いいえ	はい	はい

統合:				
FSSO パートナー (Quick Connect)	2	15	50	無制限
FSSO パートナー (Custom)	0	0	2	無制限
監査および報告:				
監査フィード	いいえ	いいえ	はい (1 フィード)	はい (1 フィード)
アドホック・レポート・コンソール	いいえ	はい	はい	はい
その他:				
API	いいえ	いいえ	はい	はい
MPLS サポート	いいえ	いいえ	いいえ	はい
専用ディレクトリー	いいえ	いいえ	いいえ	はい

パッケージ・コンポーネント定義

コンポーネント	説明
実稼動ドメイン	お客様の Cloud Identity Service の主要な場所
非実稼動ドメイン	Cloud Identity Service の論理的な非実稼動インスタンス - 各非実稼動ドメインは、最大 5,000 ユーザーに制限されます。
完全非実稼動	お客様が全ユーザー (5,000 ユーザーに制限されない) をロードできる非実稼動ドメイン
VPN	Cloud Identity Service をプライベート・ネットワークを介してお客様の資産に接続できるようにするサイト間 VPN 接続
IP アドレス	お客様の資産に対し WAN を介してトラフィックをルーティングするために使用できるパブリック IP アドレス
WAM:	
SPNEGO サポート	お客様の AD 資格情報を使用して、統合 Windows 認証/SPNEGO がデスクトップ - Web 間の SSO についてサポートされます。
Multi-Factor External Authentication Interface (MFA EAI)	お客様所有の MFA ソリューション (RSA SecurID など) との統合をサポートします。
アイデンティティ管理	
アイデンティティ・フィード (Standard TAL)	Template Assembly Line (TAL) Identity Feeds は、IDI または ISIM を介してサポートされるプロトコルを使用してシステムのプロビジョニング統合をサポートします。
アイデンティティ・フィード (Custom AL)	カスタム・アダプターまたは TAL によってサポートされないワークフロー・ロジックを必要とするアセンブリー・ライン
セルフサービス (Basic)	アプリケーションの完全な「セルフサービス」スイート - アプリケーションごとに 1 インスタンスに制限されます。
セルフサービス (Advanced)	アプリケーションの「セルフサービス」スイートに、マルチ・インスタンス・サポートを追加します。
統合:	
FSSO パートナー (Quick Connect)	標準プロトコルを用いた「統合シングル・サインオン」(FSSO) のために Cloud Identity Service と統合された第三者。

コンポーネント	説明
FSSO パートナー (Custom)	カスタムまたは専有プロトコルを必要とする FSSO のために Cloud Identity Service と統合された第三者
監査および報告:	
監査フィード	お客様が所有、運用するリレーショナル・データベース/SIEM に Cloud Identity Service の未加工の監査イベント情報を転送するアセンブリー・ライン
アドホック・レポート・コンソール	システムの基礎的な監査リポジトリを利用して、アドホックなグラフィック、テキスト、ドリル・ダウンおよび定期レポートを可能にするレポート・コンソール
その他:	
API	REST Web サービスを介して、Cloud Identity Service の管理機能およびセルフ・サービス機能に対しプログラムによるアクセスを提供します。
MPLS サポート	お客様はプライベート・ネットワーク通信のために、提供された MPLS 回路を利用することができます。
専用ディレクトリー	お客様のアイデンティティ・データのために Cloud Identity Service 内でスタンドアロン LDAP インフラストラクチャーを提供します。

各パッケージには、IBM Cloud Identity Service を利用することが予測される総ユーザー数を示す 6 つのユーザー階層があります。選択したパッケージ内で、総許可ユーザーの上限を示す 1 つの階層を選択しなければなりません。以下の 2 つのユーザー・タイプが存在し、該当する場合はサブスクリプションに含めなければなりません。

- a. 「内部ユーザー」 - これらは、お客様の従業員および請負業者として定義されます。
- b. 「外部ユーザー」 - これらは、お客様、ビジネス・パートナー、チャネル・パートナーおよびその他の外部関係者として定義されます。

外部ユーザーは、1 内部ユーザーに対し 15 ユーザーとしてカウントされます。(例えば、1 内部ユーザー = 15 外部ユーザー)

お客様が内部ユーザーおよび外部ユーザーの両方を擁している場合、基本パッケージの範囲内で適切なユーザー階層を算定するために、ユーザーは内部または外部のいずれかに上記 15:1 の比率で完全に変換されます。(例えば、1,000 内部ユーザー+ 1,500 外部ユーザーは、1,100 内部ユーザーまたは 16,500 外部ユーザーに変換することができます。)

サービスとのインタラクションが見込まれるすべてのユーザーは、ユーザーが性質として内部であるか、外部であるか、また利用頻度が高いか低いかにかかわらず、カウントされなければなりません。

各基本パッケージのユーザー階層については、以下に記載します。

シルバー		ゴールド		プラチナ		ブルー	
内部ユーザー	外部ユーザー	内部ユーザー	外部ユーザー	内部ユーザー	外部ユーザー	内部ユーザー	外部ユーザー
1,000	15,000	2,500	37,500	5,000	75,000	25,000	375,000
2,500	37,500	5,000	75,000	10,000	150,000	50,000	750,000
5,000	75,000	10,000	150,000	20,000	300,000	75,000	1,125,000
7,500	112,500	20,000	300,000	35,000	525,000	100,000	1,500,000
10,000	150,000	35,000	525,000	50,000	750,000	125,000	1,875,000
15,000	225,000	50,000	750,000	75,000	1,125,000	150,000	2,250,000

1.2 オプション機能

以下の「オプション・パック」は、追加のフィーチャーの必要に応じて基本サブスクリプション・パッケージにオプションで追加することができます。

1.2.1 IBM Cloud Identity Service IDENTITY

このオプション・パックは、追加的な 2 つの「アイデンティティ・フィールド」をお客様に提供します。

1.2.2 IBM Cloud Identity Service FEDERATION

このオプション・パックは、追加的な 15 の FSSO パートナーをお客様に提供します。

1.2.3 IBM Cloud Identity Service COMBO

このオプション・パックは、追加として 2 つの「アイデンティティ・フィールド」と、15 の FSSO のための「統合パートナー」をお客様に提供します。このパックは、個別に「アイデンティティ・フィールド」および「FSSO オプション・パック」を購入する際の割引を提供します。

1.2.4 IBM Cloud Identity Service DEVELOPER

このオプション・パックは、1 つの監査フィールドとともに Cloud Identity Services REST API へのアクセスを提供します。

1.2.5 IBM Cloud Identity Service POWER PACK

このオプション・パックは、追加の非実稼動ドメイン、多要素認証 (MFA)、外部認証インターフェース (EAI) の使用、および高度な「セルフサービス」スイートへのアップグレードを提供します。

1.2.6 IBM Cloud Identity Service REPORTING

このオプション・パックは、Cloud Identity Service のアドホック・レポート・コンソールへのアクセスを提供します。

1.2.7 Business to Consumer (B2C) Option Packs

このオプションは特に、通常、企業・消費者間 (B2C) シナリオにおいて多数の外部ユーザーを必要とするお客様のために設計されています。以下の 5 つの「B2C オプション・パック」が利用できます。

- IBM Cloud Identity Service B2C SILVER (最大 2,000,000 外部ユーザー)
- IBM Cloud Identity Service B2C GOLD (最大 4,000,000 外部ユーザー)
- IBM Cloud Identity Service B2C PLATINUM (最大 5,000,000 外部ユーザー)
- IBM Cloud Identity Service B2C BLUE (最大 10,000,000 外部ユーザー)
- IBM Cloud Identity Service B2C BLUE UNLIM (無制限外部ユーザー)

1.2.8 Non-Production Domain Option Packs

このオプション・パックは、追加の非実稼動ドメインを提供します。以下の 3 つの「オプション・パック」が利用できます。

- IBM Cloud Identity Service NPD SILV GOLD
シルバーまたはゴールド・パッケージのお客様に追加の非実稼動ドメインを提供します。各非実稼動ドメインは、最大 5,000 ユーザーに制限されます。
- IBM Cloud Identity Service NPD PLAT BLUE
プラチナまたはブルー・パッケージのお客様に追加の非実稼動ドメインを提供します。各非実稼動ドメインは、最大 5,000 ユーザーに制限されます。
- IBM Cloud Identity Service NPD FULL USER
お客様が全ユーザー (5,000 ユーザーに制限されない) をロードできる追加の非実稼動ドメインを提供します。

1.2.9 IBM Cloud Identity Service DED DIRECTORY

このオプション・パックは、お客様のアイデンティティ・データのために Cloud Identity Services 内でスタンドアロン LDAP インフラストラクチャーを提供します。

2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=E3AFA95080CD11E6B5854315721876AE>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa> にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) および「DPA 別表」が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。DPA が適用される場合、「復処理者」の変更の通知を提供する IBM の義務およびかかる変更に関する異議を申し立てるお客様の権利は、DPA に規定されるとおりに適用されます。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。)に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。計画的であるか、公表されるかもしくは緊急保守のための停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様もしくは第三者のコンテンツもしくはテクノロジー、設計もしくは指示の問題、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームもしくはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティに関する事故もしくはお客様によるセキュリティ・テスト。緊急保守には、以下が含まれます。(i) Cloud Identity Services 環境(お客様データ、アクセシビリティおよびシステムの機能の完全性を含む)に重大

な損傷を引き起こすリスクを伴う、不正使用をもたらす恐れのある脆弱性、(ii) サービスが利用できないかもしくは著しい機能低下を引き起こすか、またはその可能性のある Cloud Identity Services インフラストラクチャー内の重大な機能的問題、(iii) 実際の、または可能性のあるセキュリティに関する事故。セキュリティ違反、セキュリティの脅威 (攻撃など) への対応、または実際の、もしくは可能性のあるセキュリティに関する事故を軽減、調査、またはこれに対応するための捜査当局への協力などを含みますが、これに限定されません。

IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

バンドルされた「クラウド・サービス」の場合 (個別の「クラウド・サービス」オファリングをパッケージ化し、単一オファリングとして、単一の合算料金で販売しているもの)、補償は、バンドルされた「クラウド・サービス」に対する 1 つにまとめられた月額料金に基づいて計算されるものであり、各個別「クラウド・サービス」に対する月額サブスクリプション料金に基づいて計算されるものではありません。お客様は、1 つの個別「クラウド・サービス」に関する請求のみ、一度にまとめて提出することができます。

3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合)
99.9% 未満	2%
99% 未満	5%
95% 未満	10%

* 「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

3.3 本「SLA」に関するその他の情報

お客様の期間の最初の 60 日の間 (以下「バーンイン期間」といいます。) は、本契約に基づく最低 99.9% の「実行可能時間パーセンテージ」を達成するために、お客様は IBM Cloud Identity Service の障害によるクレジットの資格を与えられないものとします。バーンイン期間の前またはその期間中に、IBM Cloud Identity Service への移行が予定される既存のお客様構成、ポリシー、データまたはコード (以下「既存コンポーネント」といいます。) のうち、IBM Cloud Identity Service で本契約に含まれた「実行可能時間パーセンテージ」を順調に達成することを妨げるものを IBM が特定した場合、IBM は、お客様に対し、当該の「既存コンポーネント」について通知し、IBM の独自判断で SLA の条件からそれらを除外する権利を留保します。IBM がお客様に対し、除外された「既存コンポーネント」について通知した場合、IBM は可能な限り、除外された当該コンポーネントが本契約の「実行可能時間パーセンテージ」を満たすことができるように、お客様に改善計画を提示する責任を負うものとします。両当事者が別途合意した場合を除いて、お客様は当該改善の費用に対して全責任を負うものとします。

4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、チャット、電子メール、電話、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM の IBM Software as a service support guide (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html) には、テクニカル・サポートの連絡先情報

ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

5. エンタイトルメントおよび課金情報

5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用が可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

5.2 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

5.3 検証

お客様は、i) IBM およびその独立監査人がお客様の本契約の遵守状況を検証するために合理的に必要となる記録、システム・ツールからの出力を保持し、要求に応じて提供し、ならびに ii) かかる検証の結果必要と判断されたエンタイトルメントを、IBM のその時点で最新の料金ですみやかに注文して支払うほか、その他の料金および債務を、IBM の請求書の記載に従い支払うものとします。これらの遵守状況検証義務は、該当する「クラウド・サービス」の有効期間中、およびその後の 2 年間有効に存続します。

6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。更新には、見積書に記載されたとおりに年次の値上げが適用されます。「クラウド・サービス」の営業活動終了に関する IBM 通知を受領後に自動更新が行われた場合、当該更新期間は、現在の更新終了または発表された営業活動終了日のいずれか早期に到来する日に終了します。

継続利用の場合には、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

7. 追加条件

7.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及することに同意します。

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

7.2 クラウド・サービスの合法的利用

「クラウド・サービス」は、お客様のセキュリティー環境およびデータの改善についてお客様を支援するように設計されています。「クラウド・サービス」の利用は、さまざまな法律または規制に関わる場合があります。これには、プライバシー、データ保護、雇用、電子通信、および電子保管に関連するも

のが含まれます。「クラウド・サービス」は、合法的目的かつ合法的方法による場合にのみ利用可能です。お客様は、適用される法律、規則、および方針に従って「クラウド・サービス」を利用することに同意し、それらを遵守する一切の責任を負うものとします。お客様は、「クラウド・サービス」の合法的な利用に必要なすべての同意、許可、またはライセンスを取得するか、取得済みであることを表明します。

7.3 ゲストによる使用

「ゲスト・ユーザー」とは、お客様とのデータ交換のために「クラウド・サービス」にアクセスすること、またはお客様に代わって「クラウド・サービス」を利用することをお客様が許可した「クラウド・サービス」ユーザーをいいます。「ゲスト・ユーザー」はすべて、「許可ユーザー」でなければなりません。お客様の「ゲスト・ユーザー」は、「クラウド・サービス」へのアクセスおよびその利用のために、IBM が提供するオンラインでの同意を要求される場合があります。お客様は、次のような「ゲスト・ユーザー」に対する責任を負うものとしますが、これらに限られません。a) 「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」に関連するあらゆる請求、または b) 「ゲスト・ユーザー」による「クラウド・サービス」の不正利用。